

「ねこでる」情報共有

不妊手術し地域で見守り

崇城大（熊本市西区）と竜之介動物病院（同市中央区、徳田竜之介院長）が、野良猫の目撃情報を投稿するインターネットサイト「ねこでる」を開発し、運用を始めた。野良猫の生息域を把握し、去勢・避妊手術を施して、「地域猫」として見守ることで、野良猫の殺処分ゼロを目指すTNR活動に役立てていく。（今村知寛）

動物病院と大学 投稿サイト開発

同動物病院は、野良猫を捕獲（Trap）し、不妊手術（Neuter）を施して、元の場所に戻す（Return）というTNR活動に取り組んでいる。ただ、猫は自治体への登録が不要で、頭数や生息域の把握ができていない。徳田院長はTNR活動を促進するため、野良猫の実



野良猫の目撃情報を投稿し、共有できる「ねこでる」のページ

数を把握する方法を模索してきた。徳田院長によると、4月の熊本地震で、飼い主の元から逃げ出して迷子になった猫が繁殖し、増えていくように感じるという。「ねこでる」は、同情報学部情報学科の和泉信生助教らが地震時に開発した投稿サイト「みずでる」を応用した。

野良猫の数や生息域を把握し、必要に応じて去勢・避妊手術を施す。迷子猫の発見にも役立てたい考えた。11月22〜28日のTNR活動で不妊手術を施した1890匹の野良猫も、ねこでるに登録するという。

徳田院長は「不幸な猫を減らすためには、猫の不妊手術が欠かせない。野良猫の実態把握のために多くの人に活用してほしい」と呼びかけ、和泉助教は「今後はゲーム性を持たせるなど機能を充実させ、楽しみながら利用してもらえようになりたい」と語った。

みずでるは、水が出ているかなどを投稿してもらい、水道が使える場所を共有する。「ねこでる」の場合、野良猫を見かけた人が猫の写真と撮影場所を投稿。猫の柄や性格、去勢・避妊手術を受けた目印である耳の切り込みの有無なども書き込むことができる。11月10日に運用を開始。サイトを利用するための会員登録は不要で、ネット環境があれば、誰でも投稿、閲覧できる。

管理者である同動物病院では、集まった情報を基に、

ねこでるのアドレスは [\(https://neko.today/\)](https://neko.today/)。